（仕様書表紙用紙）

令和8年度		仕　様　書 （三重県防災行政無線運営協議会）
履行場所	三重県津市美里町家所地内　ほか1箇所	
業務名称	長谷山中継所ほか防災通信ネットワーク用発電設備油庫修繕	
履行期間	契約の日から令和9年2月26日まで	
業務の概要		
油庫修繕　2棟		

三重県防災行政無線運営協議会

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		
調査基準価格	1	式		
調査基準価格の100/110	1	式		

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
建築工事	1	式		
計				

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
長谷山中継所油庫	1	式		
鳥羽中継所油庫	1	式		
計				

長谷山中継所油庫

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
屋根改修	1	式		
計				

鳥羽中継所油庫

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
建具改修	1	式		
計				

長谷山中継所油庫

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
屋根改修	改修	1	式		
計					

鳥羽中継所油庫

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設		1	式		
計					
建具改修	改修	1	式		
計					

長谷山中継所油庫　屋根改修　改修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
屋根板	ベンチレーター撤去・閉合処理含む	1	組			代価表　0001
小計						
計						

鳥羽中継所油庫　直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
エンジンウェルダ		1	台			
改修機械運転 (ﾄﾗｯｸ)	普通用 4t積	1	運転日			
計						

鳥羽中継所油庫　建具改修　改修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
鋼製建具						
鋼製扉	ヒンジ修理	1	枚			代価表　0002
計						

長谷山中継所ほか防災通信ネットワーク用発電設備油庫修繕　特記仕様書

1　業務名
長谷山中継所ほか防災通信ネットワーク用発電設備油庫修繕

2　履行場所
長谷山中継所　津市美里町家所
鳥羽中継所　　鳥羽市船津町字榎谷

3　履行期限
令和9年2月26日

4　業務概要
油庫修繕　２棟

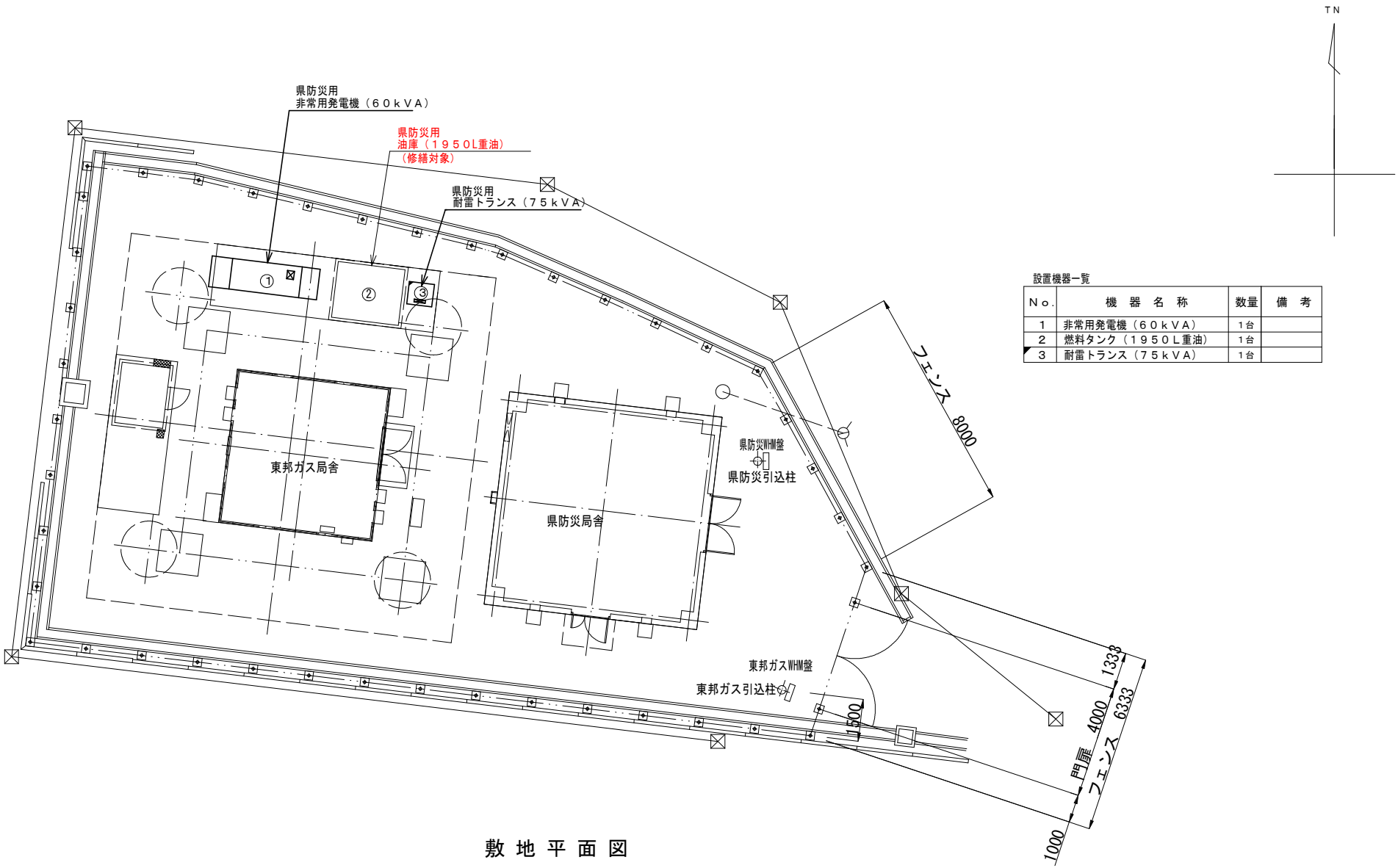
5　業務内容
以下の修繕を実施するものとする。
（1）長谷山中継所　油庫修繕
油庫の天板及び点検口が発錆・腐食し、雨漏りしているため、屋根板を取り付ける。
・屋根板仕様　ステンレス製（t=1.5）、2600×2200（周囲破風75㎜）程度
・既存ベンチレーターは撤去し止水措置する
・アイボルト用ネジ穴等を利用し、屋根板を取付る
・屋根板の形状は2分割する等で脱着が容易にできるよう検討し、発注者との協議で決定するものとする
（2）鳥羽中継所　油庫修繕
油庫の鋼製扉のヒンジ（重量物用、2箇所）が発錆・腐食し脱落しているため、ヒンジの修繕を行う。
（3）撤去品処分
ア　撤去品は、関係法令に基づき適正に処分するものとする。

6　安全管理
労働安全規則等関係法令に従い常に安全管理に必要な措置を講じるものとする。
また、修繕対象の油庫は少量危険物貯蔵所（Ａ重油）であることから、安全作業に必要な措置を講じたうえで作業するものとする。

7　関係法令等
受注者は、本業務に関係する諸法令、条例、その他最新の規格、基準を遵守するものとする。特に少量危険物貯蔵所であることに留意するものとする。
なお、修繕に伴い管轄消防署への申請等が必要な場合は本業務で行うものとする。

8　報告書
業務内容、写真、結果についての報告書を1部提出するものとする。

9　その他
この仕様書に定めのない事項及び契約の履行に関して、疑義が生じた場合は、発注者、受注者双方が協議のうえ、定めるものとする。

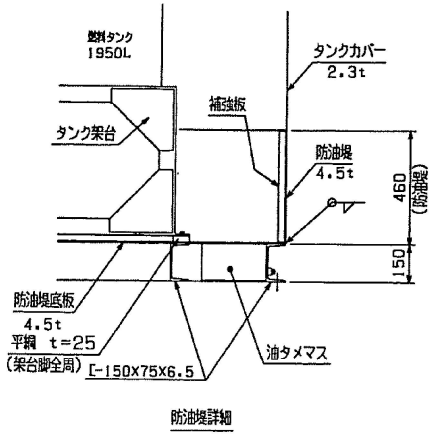


設置機器一覧

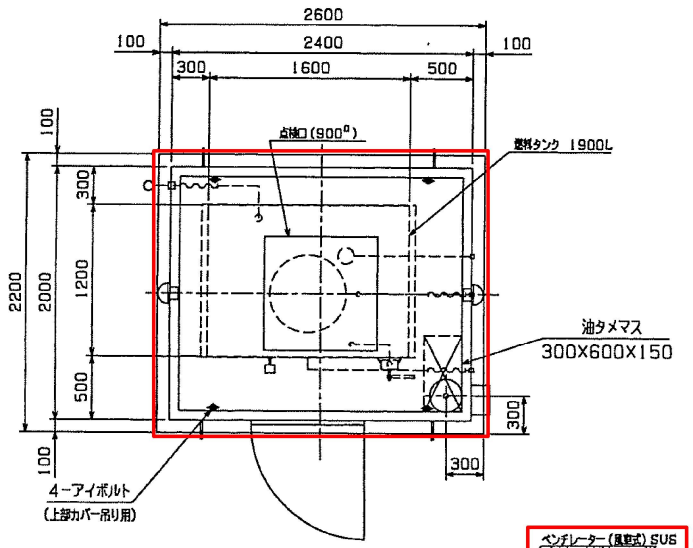
Ｎｏ.	機　器　名　称	数量	備　考
1	非常用発電機（６０ｋＶＡ）	1台	
2	燃料タンク（１９５０Ｌ重油）	1台	
3	耐雷トランス（７５ｋＶＡ）	1台	

敷 地 平 面 図

工　事　名	長谷山中継所ほか防災通信ネットワーク用発電設備油庫修繕		
施工箇所名	長谷山中継所		
図面の種類	敷地平面図		
縮　尺	1:140	図面番号	1
事業者名	三重県防災行政無線運営協議会		



防油堤詳細



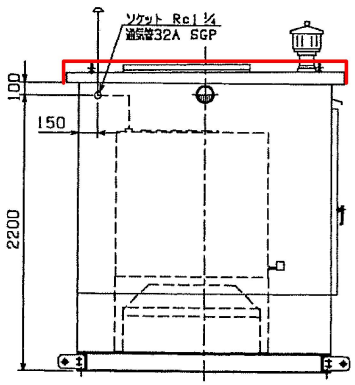
仕様

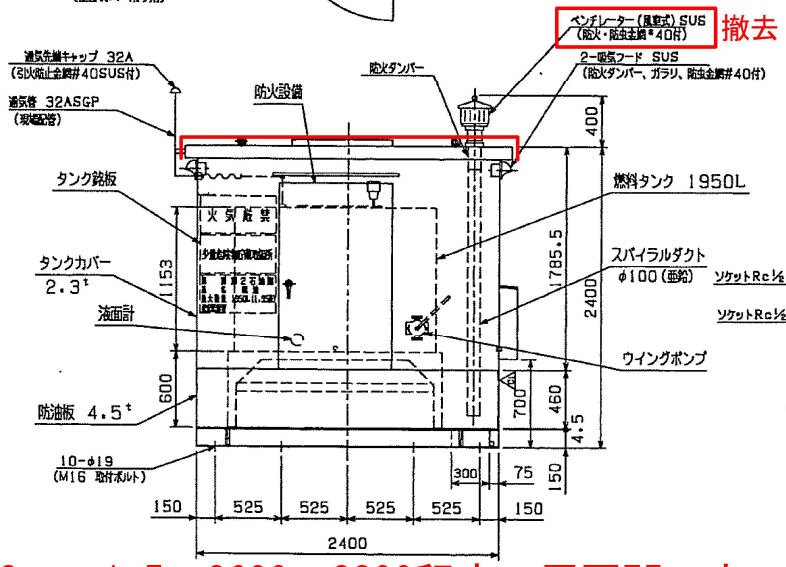
塗装色：マンセル5Y7/1 半ツヤ	
取付面ベース：目上	
材質：SS400、SEHC 2.3t、4.5t	
質量：カバー	1320 Kg
タンク、架台	590 Kg
配管材料等	140 Kg
合計(乾燥時)約	2050 Kg
燃料油(1950L)	1660 Kg
総合計(満油時)約	3710 Kg

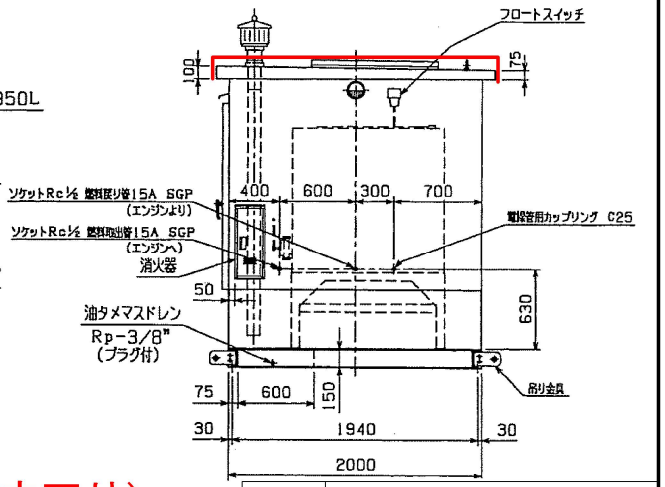
防油堤容積計算

(2.391x1.991x0.46)
+(0.30X0.60X0.50)=2.279 m³
=2279 L
∴ 2279L > 1950L(タンク容量)

カバー扉は、ドアストッパー付としロッド棒で固定するものとする。
ロッド棒の当たり面は、ステンレスで保護
外枠取付ボルトは全てステンレス製使用

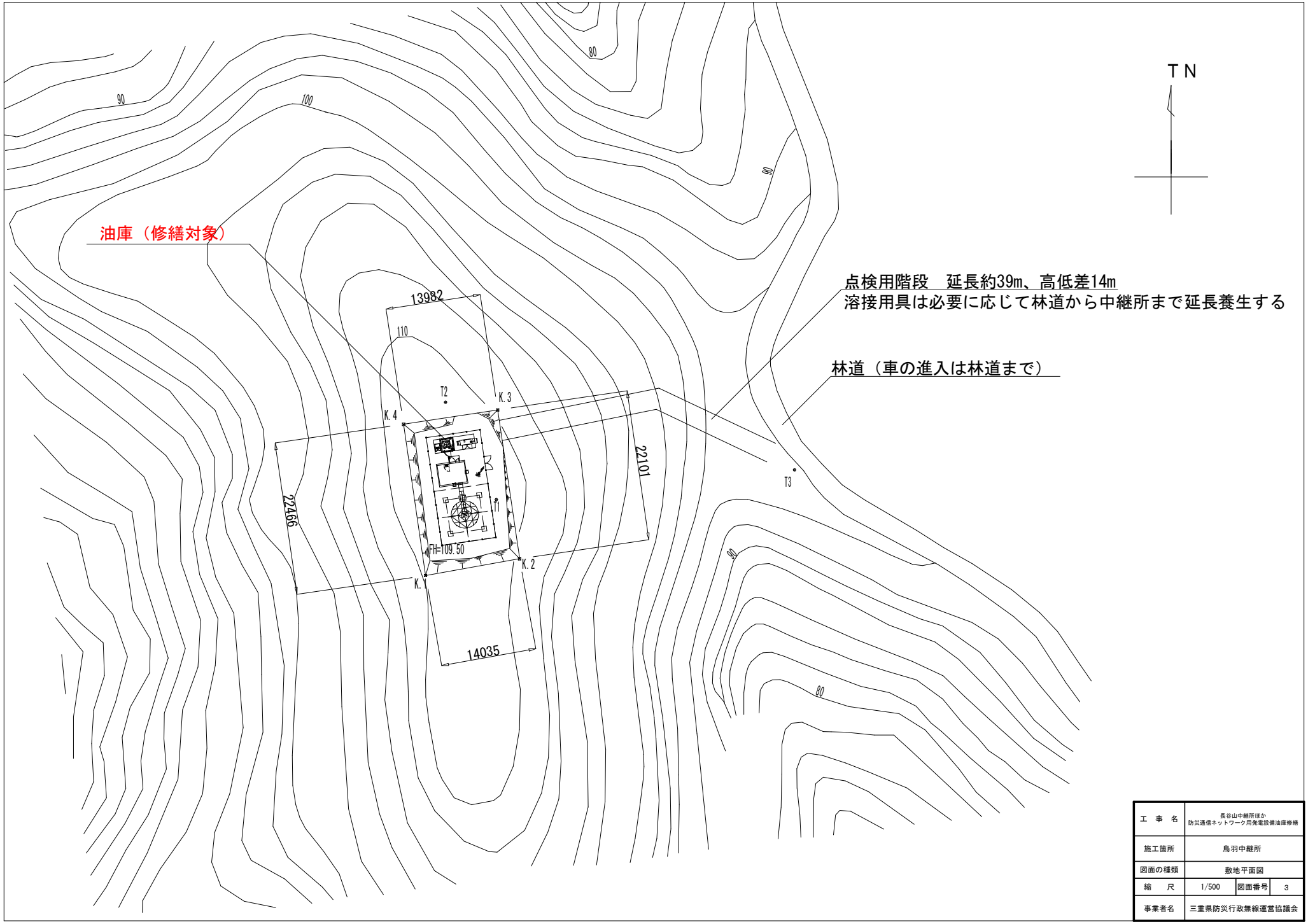




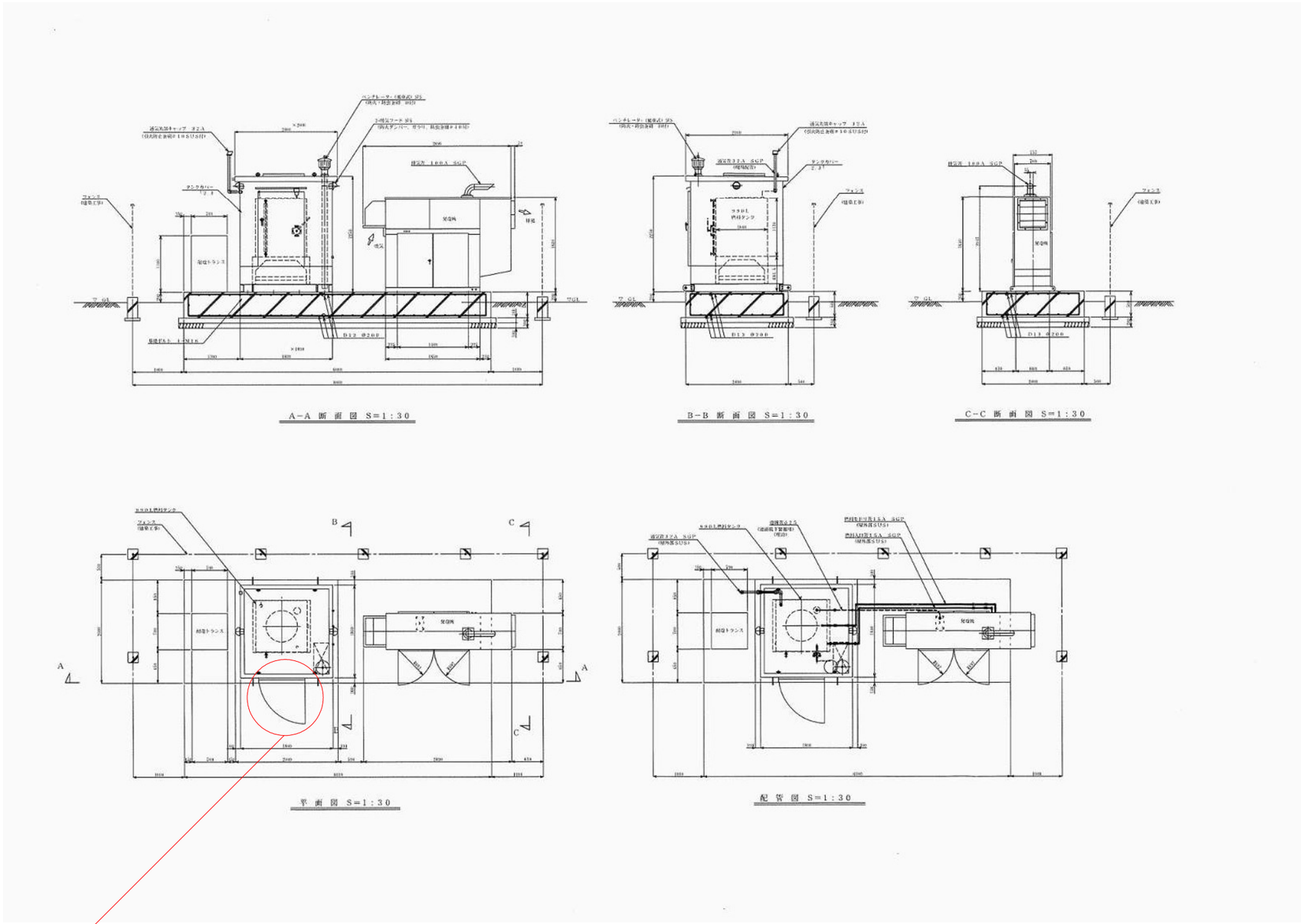


燃料タンクカバー補修：屋根板取付（SUS、t=1.5、2600×2200程度、周囲75mm立下り）
屋根板は既存のアイボルト用ネジ穴等を利用して高ナットで取付
ベンチレーター撤去（貫通部を止水処理）

業務名	長谷山中継所ほか 防災通信ネットワーク用発電設備油庫修繕		
図面名	油庫外形図		
縮尺	NONE	図面番号	2
事業者名	三重県防災行政無線運営協議会		



工　事　名	長谷山中継所ほか 防災通信ネットワーク用発電設備油庫修繕		
施工箇所	鳥羽中継所		
図面の種類	敷地平面図		
縮　　尺	1/500	図面番号	3
事業者名	三重県防災行政無線運営協議会		



油庫の扉修繕（ヒンジが発錆・腐食し、扉脱落→ヒンジ現場溶接で取付（2箇所））

工　事　名	長谷山中継所ほか 防災通信ネットワーク用発電設備油庫修繕		
施工箇所	鳥羽中継所		
図面の種類	油庫外形図		
縮　　尺	NONE	図面番号	4
事業者名	三重県防災行政無線運営協議会		